



3 歳		4 歳		5 歳 以上		3 歳	
モンタサン	56	ナスノコトブキ	59	コレヒデ	64	サトヒカル	55
リュウズキ	55	スピードシンボリ	58	ハクズイコウ	61	タイギヨウ	55
メジロフレイム	54	シヨウグン	56	ヒシマサヒデ	61	※ヤマビツト	55
コキンホース	53	オンワードヒル	55	ハマテツソ	58	※タニノクレイマント	53
※ブラックスワン	53	シエスキイ	55	ヤマドリ	58	Ⓜ️タフネス	53
ヤマニカツブ	53	タマシユウホウ	55	グレートヨルカ	57	イメージモアー	52
スズハヤテ	52	ヒロイサミ	55	カプトシロー	56	※オーゼツト	52
ハウゲツオー	52	ヤマヒビキ	55	セフトウエー	56	クリバツク	52
マツタカラ	52	メジロサンマン	54	キクノズラン	55	ハイドル	52
ムネヒサ	52	キヨシゲル	53	ブツシヤン	55	ヒーローブラス	52
※カツラジュニヤー	51	ダイニセエチヨウ	53	ヒガシソネラオー	54	アトラス	51
キヤットエイト	51	ヒロヨシ	53	フジイサミ	54	オーゴンリュウ	51
スイフトオー	51	ポールトムサン	53	キヨトミ	53	カミヤシユーホー	51
※スイートフラッグ	51	メジロボサツ	53	ベストルーラー	53	キングボツスル	51
ハクセンシヨウ	51	ネイチプランナー	52	セエチヨウ	52	※グレイシヤスクイン	51
※キクノフドウ	50	ハイアデス	52	リコウ	52	シバフジ	51
※ダイチスズワカ	50	タカトキ	51	シユツロスベルガー	51	ライジングバンブー	51
ミネシオ	50	ハーバーホープ	51	パラデイン	51	イズモン	50
ユウユウ	50	ヒシヤクシン	51	スピードキング	50	※イトハフジン	50
※ヨウク	50	カツラクラウン	50	ソウリユウ	50	※キムスクイン	50
						※シヤネル	50
						※スプリングヘン	50
						※ハネムー	50
						フジエ	50

※印は牝馬  
(四歳以上は省略)

戦を戦いイトハンの二着だったが、第二戦は不良馬場でハーバーウエーブに大差をつけて勝ち上がった。帰厩後は桔梗特別が四着、ひらぎ賞が二着であったが、本番の阪神三才ステークスでは展開に恵まれたとはいえず、1分37秒0のレコード・タイムで逃げきった。なお、1月15日のシンザン記念にも勝って、三才Sの勝利がフロックでなかったことを実証した。

サトヒカル(牡 コダマIIフレイムクイン馬主 鴨 常一氏 大久保亀厩舎)。はじめコダマアトムの名で函館から走り、最初は着外だったが、第二戦でクインスターに首差の二着。その後も二着を二回して新潟に転戦、タニノクレイマントを3馬身降し最初の一勝をあげた。

この馬は堅実に着は得ても、いま一つ勝味に乏しいようなところがあったが、年末に至っての充実が著しく、銀杏特別、芙蓉特別の二つの特別レースを連覇、三才ステークスでも大外の不利にもかかわらず、タイギヨウを鼻差の二着で脅やかした。

ヤマビツト(牝 ソロナウエーIIキューピット 馬主 小林信夫氏 浅見厩舎)。9月京都の新馬にあり、第一戦をダンサーに大差をつけて勝ちとった。第二戦は京都の三才ステークス、これは雨不良の馬場であったが、やはりケンランに大差をつけ、桁違いの強さを示した。次の楓賞は一五〇〇一分三一秒五のレコード、さらに三才ステークス一六〇〇分を一分三十八秒0、いずれもレコードという快速ぶりであった。阪神三才ステークスは三着で、同馬がはじめて敗れたレースであった。

タニノクレイマント(牝 クレイマントIIクインブヤン)は新潟と京都で一勝ずつをあげているだけだが、サトヒカル同様、連戦健闘した実績を買われたものであろう。また抽せん馬タフネス(牡 アボツスルIIサンダーボルト)は小倉から9月の京都まで五連勝を記録したが、故障が生じ後半戦を休んでいる。しかし、その後、立直って正月競馬から出走している。